

順九さんのお絵かき寺子屋を開催しました！

8月10日（月）山の日にて、ポートアート&デザイン津山にて、彫刻家・画家である武藤順九先生による「お絵かき寺子屋」を開催しました。親子10組が参加し、親子それぞれが一から墨を擦り、お気に入りの葉っぱをモチーフに6mの絵巻物に挑戦しました！

順九さんは教えないよ

ポートアート&デザイン津山が寺子屋に変身しました！

順九先生は、子どもたちに「自由に描きなさい」と優しく語りかけておられました。

自分で墨を擦り、最後まで1人で描きました！宝物がひとつ増えましたね。

葉っぱのストーリー

長年海外で活動してこられた順九先生は、「日本人は、自国の素晴らしい文化について説明できない」「このままでは日本の文化が減ってしまう」ことを心配しておられます。多くの子どもたち（大人も）が、今回のような墨絵体験を通して、日本文化の素晴らしさを話せるようになってほしいと熱く語られていました。

6mの絵巻物が完成！

講師 武藤 順九（むとう じゅんきゅう）先生 彫刻家・画家 1950年、仙台市に生まれる。東京芸術大学美術学部卒業後、フランス、

スペインに滞在。その後、イタリア・ローマにアトリエを構える。2000年には、ヴェルシリア賞国際グランプリ受賞作「風の環」が、ローマ教皇の離宮に抽象彫刻として永久設置される。その他にも世界各地に氏の彫刻作品が設置されている。日本各地の小学校などで、墨で描く心の絵巻物の授業、イベントを行い、子どもだけでなく、大人にも好評を得ている。津山市にもアトリエを構え居住。津山文化センターに3.11 慰霊モニュメント 1/4 モデルを展示。ポートアート&デザイン津山にも氏の作品を展示中。